



浜松医科大学小児科学雑誌 投稿規程

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 浜松医科大学小児科学雑誌編集部 公開日: 2025-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/0002000362

浜松医科大学小児科学雑誌 投稿規程

(2024 年 3 月 1 日改訂, 2024 年 4 月 1 日から実施)

投稿資格

本誌への投稿資格は浜松医科大学小児科およびその関連病院小児科に勤務する医師, あるいは浜松医科大学小児科同窓会会員であることとする。

ただし, 著者が上記に該当しない場合 (医師に限る), または研修医 (医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修を受けている医師) の場合, 共著者に浜松医科大学小児科およびその関連病院小児科に勤務する医師, あるいは浜松医科大学小児科同窓会会員を含むときにはこの限りでない。

投稿内容と採否及び著作権の帰属

- 論文の種類は, 依頼総説, 原著総説, 原著 (臨床・基礎研究), 症例報告, その他で, 浜松医科大学小児科学雑誌編集委員会が適切と認めたものとする。
- 投稿論文は本誌のみに発表する学術論文に限り, 国の内外を問わず他雑誌に発表された論文, あるいは発表予定の論文ではないこと。
- ヒトを対象とした研究は「ヘルシンキ宣言 (以後の改訂を含む)」, 国により策定された医学研究に関する最新の法律および指針に, また動物実験は「大学における動物実験の実施に関する基本的な考え方について (日本学術審議会)」およびこれらに準ずる指針の規定を遵守すること。特にヒトを対象とする研究においては, 患者等の匿名性を十分守ったうえで, 論文中に患者 (あるいはその代諾者) からインフォームド・コンセントを得たこと, またはオプトアウトを行ったこと, 所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載すること。症例報告においても, 個人が特定される可能性が高いと考えられる場合, 患者 (あるいはその代諾者) から書面による同意を得たことを記載する。同意が得られなかった場合は, 所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載する。保険外診療や適応外使用に関しては, 別途必要に応じて所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載する。介入研究のみならず観察研究 (後ろ向き研究含む) も所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を必要とする。症例報告において何例からの検討が倫理委員会・治験審査委員会等の承認を必要とするかは所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の基準に準じ, 審査不要の場合はカバーレターにその旨を記載する。
- 論文の採否は, 浜松医科大学小児科学雑誌編集委員会から委嘱された査読者による査読 (ダブル・ブラインド方式) を経たのち, 編集委員会において決定する。査読結果および採否の通知は, 筆頭著者あてに連絡する。また, 編集方針に従って原稿に加筆, 削除, 修正などを求めることがある。
- 投稿論文の著作権は, 浜松医科大学小児科学雑誌編集部に委譲するものとする。

著者資格 (Authorship)

投稿論文の著者は, 全員が以下の著者資格の基準すべてを満たす必要がある。

- 研究の構想またはデザイン, あるいはデータ収集, データ分析または解釈に実質的に貢献した。
- 論文の作成または重要な知的内容について批判的な推敲を行った。
- 出版原稿の最終承認を行った。

- 4) 研究のあらゆる部分について、その正確性または公平性に関する疑義が適切に調査され、解決されることを保証し、研究のすべての側面に対して説明責任を負うことに同意した。

論文の執筆に関わる研究に対して実質的な貢献があったが、著者資格の基準を満たすことができない関係者名については、謝辞として論文の文末に記載すること。

利益相反

論文投稿の際、利益相反 (Conflict of Interest : COI) について所定の様式にて申告すること。利益相反関係の有無は、論文作成要領にしたがって投稿原稿本文中にも明記する。

論文投稿方法

1. 投稿の際には、浜松医科大学小児科ホームページ (<https://www.hamamed-ped.jp/journal/>) より Microsoft Word で作成した「投稿フォーム (テンプレート)」をダウンロードして使用する。
※テンプレートが使用できない場合：ワープロソフトを使用し、用紙は A4 判縦向き横書きで上下左右余白・行間を適宜とり、ページ毎にページ番号と行番号を挿入する。
2. 使用するワープロソフトは Microsoft Word のみとする。フォントは、日本語は MS 明朝、英数字は Times New Roman を用い、10.5 ポイントで作成する。Macintosh で作成する場合、ファイル名の拡張子「.doc」を消さないこと。
3. 「投稿時必要書類」内にある「著者ならびに共著者の同意書」、「他誌への重複投稿をしていないことに関する著者の誓約書」、「著作権に関する届出書」、「利益相反自己申告書」ならびに「投稿論文チェックリスト」を記載する。
4. 「投稿時必要書類」と原稿を浜松医科大学小児科学雑誌編集部にもメールで送付する。査読後の指示による再投稿の際も同様に原稿をメールで送付する。「投稿時必要書類」については、著者名の自署が必要な欄があるので、自署した上で PDF 化してメールで送付する (電子署名での提出可)。

原稿作成要領

1. 原稿構成
 - 1) 論文の 1 頁目には論文種別のほか、表題・所属・著者名 (それぞれ英文も併記、姓名は「Taro YAMAKAWA」のようにローマ字を併記する)、5 つ以内のキーワード、および Corresponding Author の氏名、住所、電話・FAX 番号、E-mail アドレスを記載する。著者の所属は投稿時のものではなく、論文に関係する仕事をした時のものを記載する。
 - 2) 2 頁目以降に、原著論文の場合は原則として、要旨、緒言、方法、成績 (または結果)、考案 (または考察)、結論、利益相反、著者役割、参考文献 (または引用文献) の順に記載する。症例報告の場合は、要旨、緒言、症例、考案 (または考察)、結論、利益相反、著者役割、参考文献 (または引用文献) の順に記載する。
 - 3) 要旨 (400 字以内) は、それだけで論文の内容がわかるようにまとめる。
 - 4) 論文に関する利益相反 (COI) についての記述を表記する。
(例) 本論文に関して、開示すべき利益相反関連事項はない。
本研究は、著者が所属する「企業名」の研究費で実施された。
 - 5) 著者役割 (Author Contribution) は、論文における各著者の役割 (貢献) を記載する。

- (例) (著者名) は、論文の構想、デザイン、データの収集・分析および解釈、論文執筆を行った。
(著者名) は、症例の診療、論文の執筆と指導を行った。
(著者名) は、症例集積、データ収集に関与した。
(著者名) は、論文の重要な知的内容に関わる批判的校閲に関与した。

全ての著者が出版原稿の最終承認を行った。

- 6) 英文抄録 (300word 以内) を参考文献 (または引用文献) の後に記載する。英文は英語を母国語とする、もしくは英語が堪能な医師等の校閲を受けること。
- 7) 統計解析を行った場合は、統計処理法を必ず明記する。ただし、原著以外の論文の記載様式はこの限りではない。
- 8) 図・表は、投稿原稿の最終ページ (英文抄録の後) にまとめて掲載する。掲載可の場合、図・表の掲載位置は、編集部での校正段階で適宜変更する。

2. 原稿は以下の要領に従って作成すること。

- 1) 原稿は日本語とする。横書きとし、原則として現代仮名遣い、常用漢字を用いる。学術用語は日本医学会医学用語辞典と日本小児科学会用語集に準じて使用し、英語つづりは米国式とする。
- 2) 論文の長さは特に制限はない。
- 3) 外国の人名および薬品名は必ず原語を用いる。
- 4) 数量の単位は km, m, cm, mm, μ , m μ , L, dL, mL (cc でなく), kg, g, mg, γ , mEq/L, mg/dL などを用いること。mm³, cmm などは用いず μ L を用いること。数字は算用数字とする。
- 5) 略語を使用する場合は、原則として初出時に「日本語 (英語のフルスペル: 省略形)」の形式で記載する。

3. 参考文献 (または引用文献) は以下の要領に従って記載すること。

- 1) 参考文献 (または引用文献) は研究に直接関係するものととどめる。
- 2) 本文中の引用部位には、右肩上にパーレン付き (例: 小児科学¹⁾²⁾³⁾⁻⁴⁾) で明記し、本文の終わりに本文中に肩付けした引用番号順に配列する。
- 3) 文献の書き方は次の形式による。
 - ① 雑誌: 著者名. 表題. 雑誌名. 発行年; 巻: 最初ページ-最終ページ.
 - ② 単行本: 著者名. 表題. 編者名. 書籍名 版数. 出版社の所在地名: 出版社, 発行年: 最初ページ-最終ページ.
 - ③ 分担執筆による単行本の分担部分: 著者名. 分担執筆部分の表題. 編集者名. 書名. 版数. 出版社の所在地名: 出版社, 発行年: 分担部分の最初ページ-最終ページ.
 - ④ Web ページ: 著者名 (分かれば). Web ページの題名. 入手先 URL, (参照日付).
- 4) 本邦の雑誌名は各雑誌により決められている略称を用い、欧文誌は Index Medicus に準ずる。
- 5) 著者名を記載する場合、著者名は、3 名までは全員を記載する。4 名以上の場合は最初の 3 名を記載し、「, 他」あるいは外国語文献の場合は「, et al」と記載する。

(例)

英文雑誌

- Takada H, Yoshikawa H, Imaizumi M, et al. Delayed separation of the umbilical cord in two siblings with Interleukin-1 receptor-associated kinase4 deficiency: rapid screening by flow cytometer. J Pediatr. 2006; 148: 546-548.

- ・ Beltramin AU, Hertzog ME. Sleep and bedtime behavior in preschool-aged children. *Pediatrics*. 1983; 71: 153–158.

英文書籍

- ・ Dorken B, Moller P, Pezzuto A, et al. CDw75. In: Knapp W, Dorken B, Gilks WR, et al, eds. *Perinatal Immunology*. 4th ed. New York: Oxford University Press, 1989: 109–110.

邦文雑誌

- ・ 菅 秀, 富樫武弘, 細矢光亮, 他. 13 価肺炎球菌結合型ワクチン (PCV13) 導入後の小児侵襲性肺炎球菌感染症 (IPD) の現状. *病原微生物検出情報 (IASR)*. 2018; 39: 112–113.
- ・ 鎮目和夫. 我国における下垂体疾患の現状. *日内分泌会誌*. 1975; 52: 1141–1151.

邦文書籍

- ・ 山本一哉. 新生児落屑. 山本一哉編. こどものおむつ部によくみる 50 症状 どう診てどう対応するか. 東京: 南山堂, 2005: 38–39.
- ・ 山本一希, 山岸敬幸. チアノーゼ. 五十嵐 隆編. *小児科診療ガイドライン—最新の診療視診—*. 第 4 版. 東京: 総合医学社, 2019: 34–38.

Web ページ

- ・ 公益社団法人日本小児科学会: 日本小児科学会小児死亡登録・検証委員会. 子どもの死に関する我が国の情報収集システムの確立に向けた提言書. <http://www.jpeds.or.jp/modules/guidelines/index.php>, (最終参照 2022.11.29).
- ・ IAEA Radiation Protection of Patients (RPOP) 2010. Radiation protection of pregnant women in nuclear medicine. <https://www.iaea.org/resources/rpop/health-professionals/nuclear-medicine/pregnant-women>, (最終参照 2020.6.10).

4. 図・表については以下の要領に従うこと.

- 1) 図・表はカラーも可. 図の場合は原稿に 2 段の表を挿入し, 上段に図, 下段に図の番号とタイトル, 図の説明を, 表の場合は原稿に 3 段の表を挿入し, 上段に表の番号とタイトル, 中段に実際の表, 下段に表およびその説明を記載するような体裁で適宜挿入する. 図表のタイトルは MS ゴシック 10.5 ポイント, 図の説明は MS 明朝 9 ポイントを用いて作成する.
- 2) 既に刊行されている雑誌や著者から図表を引用する場合は, 著作権を有する出版社あるいは学会, 著者などから書面にて了承を得た上, 図表に文献の記載順序に従って出典を明らかにする.
- 3) 患者の顔写真や家系図を使用する際は, 患者 (あるいはその代諾者) に説明の上, 文書で同意を得る. 写真または家系図の説明中には同意を得た旨を明記し, 患者を特定できぬよう工夫する.
- 4) 画像データは仕上がり寸法で解像度 350 pixel/inch を目安に作成する.
- 5) 図表のファイルは tiff, jpg で保存したものを準備する. パワーポイントデータは, 作成されたものと違うバージョンで開いた場合, 文字がずれたり線が消えたりすることがあるので, tiff, jpg に変換する.

校正

論文受理 (accept) 後に編集部で校正を行った初稿を著者に送付するので, 期日までに返送する. 著者校正 (原則 1 回) では, 字句の誤りのみを訂正する. 内容にかかわる変更は, 著者の変更, キーワードの変更などを含め, 一切認めない. また, 組版面積に影響を及ぼすような改変も認めない.

編集委員会が大幅な変更と認定した場合には再査読とする。

掲載の順序

依頼総説，原著総説，原著，症例報告，その他の順とし，同一の種別では投稿日の順とする。

投稿・掲載料

投稿料・掲載料は無料とする。

公開と別刷

雑誌は浜松医科大学学術機関リポジトリにおいて公開され，別刷は当面の間作成しない。

二次出版 (Secondary publication) について

浜松医科大学小児科学雑誌に受理された日本語の掲載論文を英文化して英文雑誌に投稿する場合，著者はあらかじめ英文雑誌が再掲載を容認していることを事前に確認し，浜松医科大学小児科学雑誌編集委員会に所定の申請書と他雑誌へ投稿予定の論文を提出して許可を得ること。

ただし，英文原稿は下記に示す二次出版の条件を満たす必要がある。

1. 英文化された論文は日本語論文のデータならびに解釈を忠実に反映していること。
2. 著者群は原則として同一であること。
3. 英文化された論文のタイトルには，日本語論文の二次出版であることを記載すること (complete republication, complete translation, abridged republication など)。
4. 英文化された論文のタイトルページの脚注 (footnote) に，既に浜松医科大学小児科学雑誌に掲載された日本語論文の英文化であることを記載し本文中に引用すること。

(脚注記載例) This article is based on a study first reported in the Hamamatsu Journal of Pediatrics in Japanese (with full reference)。

二次出版が掲載されたら，直ちに編集委員会に掲載論文を提出すること。

二次出版に関する規程に違反した場合は，浜松医科大学小児科学雑誌掲載論文を取り消すものとする。

原稿送付先

E-mail : Ped_Journal@hama-med.ac.jp

〒431-3192 静岡県浜松市中央区半田山 1-20-1

浜松医科大学小児科学教室内

浜松医科大学小児科学雑誌編集部宛